

議事要旨

用 件	令和 8 年度 第 1 回 富士見町長期総合計画審議委員会
月 日	令和 8 年 6 月 22 日 19:00~20:45
場 所	富士見町役場 3 階会議室
概 要	出席者 委員：出席 14 名、欠席 5 名 1. 委嘱書交付 2. 町長あいさつ 3. 自己紹介 4. 委員長・副委員長選出 5. 諮問書提出 6. 議長選出 7. 議事 ■第 6 次総合計画策定について ・前期計画 KPI 進捗確認 ・アンケート・対話の会 ・後期計画の方向性(案) ■質疑等 (委員) 町単独の計画ではなく、諏訪地域や隣接する北杜市、原村といった八ヶ岳エリア全体での広域連携を模索すべきである。消防や介護保険だけでなく、他の事業でも協業によってコストパフォーマンスを高め、住民サービスの質を維持・向上させる余地があるのではないか。また、移住者の視点で見ると、現在の「区民・準区民」という区分には違和感がある。共助の要である集落組合や区の役割を維持しつつ、誰もが参加しやすい仕組みへの見直しが必要である。 (町長) 広域連携については、現在も観光や農業、移住定住などの分野で諏訪6市町村や八ヶ岳エリアでの連携を進めており、それらの取り組みを紹介することも検討する。区の制度については自治の尊重が前提だが、時代の変化に合わせた見直しを町が後押ししていく姿勢は持っていきたいと考えている。 (委員) 人口減少を食い止めることができれば、5年後に底をつくと言われる基金の危機は回避できるのか。 (町長) 人口減少の抑制だけでは財政危機の完全な回避は困難である。働く世代を増やして税収を確保することは寄与するが、そのためには投資的な予算も必要になる。投資と並行して、事務事業の棚卸しや公共施設の見直し、職員の生産性向上といった支出削減を同時に行う必要がある。 (委員) 別荘所有者や観光客といった「関係人口」が町をどう評価しているかという情報を収集し、施策のヒントにすべきである。 諏訪地域の市町村と様々な課題や現状をさらけ出して一緒に解決策を模索できないか。 全国の自治体の成功事例から積極的に学ぶべきではないか。 前期計画のKPIが未達成だった理由を、さらに深掘りする必要がある。 中高生など若い世代に町の現状を伝え、家族で話し合ってもらうなど、自分事化する手立てを

考えてほしい。

(町長)

別荘利用者へのアンケートや、広域での成功事例調査は重要であると認識している。未達理由の分析は役場内部でさらに深める。子どもたちへのアプローチについては、現在実施している「子どもチャレンジ事業」などを通じ、家族で町の課題を話せる環境作りを検討する。

(副町長)

広域連携については、諏訪6市町村の副市町村長会議や、北杜市・原村との定住自立圏構想、八ヶ岳西麓共生会議などで、観光・農業・環境などのテーマですすでに具体的な協議が動き出している。

(委員)

前期実績の振り返り資料について、未達成理由の分析が不十分に感じる。担当者がまとめただけの分析では、次の4年間も同じ結果になりかねない。記述内容に疑問がある事業がある、より詳細で客観的な分析結果の提示を求める。

(町長)

課題であると認識している。改めて分析し直したい。ただ、職員による分析だけでは限界があるため、住民の声や複数の部署の視点、委員の知見などを組み合わせ、次回以降により客観的な分析と施策を提示したい。

(委員)

多くの施策がある中で、特に若者が関心を持つ子育てやキャリア支援など、優先順位を明確に示すべきである。評価手法については、縦割り打破や官民連携の質を測る指標を導入してはどうか。また、若者が主体的に取り組めるテーマや、今後のインフラとして不可欠な「AI」などの活用を計画に盛り込むことも検討してほしい。

(町長)

優先順位については、ダイジェスト版の作成などで見せ方を工夫し、強弱をつけて示したい。評価指標への質的視点の導入や、今回のアンケート分析でも活用したAIなどのDX推進も重要であると認識している。

(委員)

KPI未達が6割という数字は民間企業ではあり得ない状況であり、強い危機感を持つべきである。施策を「暮らしを守る施策(守り)」と「町を発展させる施策(攻め)」に分け、特に「攻め」については外部の力を借りることを前提とした予算・組織体制を考えるべきではないか。一つの部署で完結しない連携施策こそが成果を生むため、人事評価制度の見直しなども必要である。

(町長)

危機的な状況において「攻め」の施策といった考え方は重要である。これまでは全施策を同列に重視してきたが、今後は優先順位についても審議会で議論していきたい。組織の縦割りを排するためのチームビルディングや、人事評価への反映も内部で進めているところである。

8. 事務連絡

次回は8月に開催予定。

9. 閉会